

# 「コウノトリとの共生」がもたらす意識の変化

本田裕子（大正大学人間学部人間環境学科）

- これまでの研究
  - ✓ 住民は、行政主導の中、自ら価値を見出し、コウノトリが「地域の鳥」に。
  - ✓ 住民は、自身や住んでいる地域に自信を持つようになった。
  - ✓ 住民にもたらされる便益は金銭に限定されない。
  
- 現在の問題意識：「意識の変化」に着目
  - ✓ コウノトリの野生復帰が、「成功」事例として注目され、「参考」事例にもなる。
    - ◇ 住民の意識に変化は？（研究①）
    - ◇ 「コウノトリ米」購入者はどのような意識で購入しているのか？（研究②）
  
- 研究①住民意識の経時変化
  - ✓ アンケート調査の概要
  - ✓ 野生復帰の賛否
  - ✓ 野生復帰賛成の理由
  - ✓ 豊岡での生息希望
  - ✓ 生息希望の理由
  - ✓ コウノトリの位置づけ
  - ✓ 野生復帰に関する心配
  - ✓ 心配内容
  - ✓ 放鳥コウノトリの責任主体
  - ✓ まとめ
    - ◇ 「地域の象徴」という認識
    - ◇ コウノトリの野生での生息の安定
    - ◇ 関心の比重
    - ◇ 本来の野生復帰の目標
  
- 研究②コウノトリ米購入者の意識
  - ✓ 調査の概要
  - ✓ 購入経路・購入米のタイプ
  - ✓ コウノトリ米を知った経緯・日常生活で食べるお米についてとその購入経路
  - ✓ コウノトリ米の購入頻度・購入の用途

- ✓ 購入目的・日常生活で食べるお米を購入する際に重視すること
- ✓ 回答者の属性
- ✓ 環境問題やコウノトリへの関心
- ✓ まとめ
  - ◇ インターネットの活用
  - ◇ 無農薬や減農薬栽培などの「安全性」
  - ◇ コウノトリや野生復帰への関心は？

- まとめ（研究①と②から）
  - ✓ 「便益」への意識
  - ✓ 「コウノトリとの共生」への課題
- 今後の研究課題①他事例との比較
- 今後の研究課題②「便益」を考える